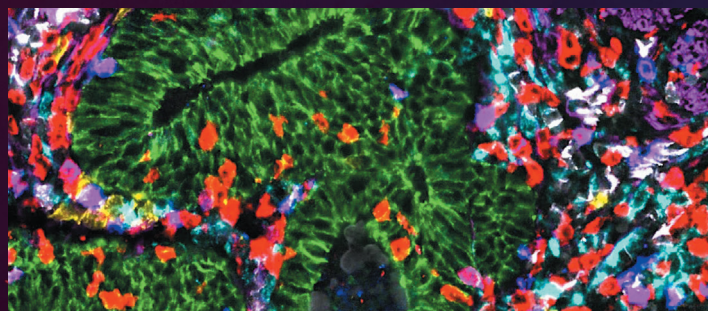


がんとのいたちごっこは なぜ起こる？

—根源に潜むがんの強靱な生存戦略—

がん治療は大きく進化してきましたが、
耐性・再発、すなわち、『がん治療のいたちごっこ』が、
がん医療の永遠の課題として立ちはだかっています。
今回は、がんの耐性・再発の種を摘み取り、
がんを根治するための創薬開発と社会実装に向けた
我々の取り組みについてお話いたします。
どのように患者さんの希望につなげていけるのか、
皆様と一緒に考えていきたいと思います。



がんの染色像：多様性の中に耐性・再発の種がある

2024.
10.4 19:00-20:00 (ゲストトーク)
20:00-20:15 (Q&A)

参加費
無料

【対 象】 どなたでも(学生の方も歓迎)

【セミナー申込】 Zoomウェビナーにてお申し込み

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_Ind_loOqS3-R6UvjNEZJg

【視 聴 方 法】 Zoomウェビナーにて開催

お申込みされた方にウェビナー視聴URLがメールで届きます。
PC、スマートフォンよりアクセスしてご視聴ください。

【問 合 せ】 名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 outreach@aip.nagoya-u.ac.jp

ゲスト

かとう しんいちろう

加藤 真一郎氏

名古屋大学大学院 医学系研究科 分子細胞免疫学 助教

富山医科薬科大学(現富山大学)大学院医学薬学教育部博士課程修了。博士(薬学)。日本学術振興会特別研究員DC2、PD。2015年からハーバードメディカルスクール(米国、ボストン)にて博士研究員、日本学術振興会海外特別研究員。2020年から名古屋大学大学院医学系研究科へ。2023年より現職。専門は、腫瘍生物学、エビジェネティクス。

